



平成24年10月10日発行 (毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

# ともしえ

2012  
10  
No.355



## CONTENTS

### 巻頭特集

### 職場における メンタルヘルス対策

- ◆ 企業探訪 ..... P12
- ◆ ご案内 ..... P15



函館商工会議所ホームページ  
<http://www.hakodate.cci.or.jp/>

BESTパートナー  
三井生命

こっこつ きちんと あなたのため  
こっこつ きちんと みんなのため  
こっこつ きちんと 地球のため  
こっこつ きちんと 明日のため  
こっこつ きちんと ウソはつかない  
こっこつ きちんと マネもしない  
こっこつ 愛して  
こっこつ 生きてるあなたを、  
わたしたち三井生命も、  
こっこつ きちんと応援します。

こ  
っ  
こ  
っ  
き  
ち  
ん  
と

入院にこたえる

手術にこたえる

ガンにこたえる

家族にこたえる

貯蓄にこたえる

変化にこたえる

未来にこたえる

こたえる保険  
ベクトルX

三井生命保険株式会社 函館支社

〒040-0015 函館市梁川町5-8 三井生命ビル 8F TEL:0138-54-6534 <http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

平成24年10月10日発行(毎月10日発行)

# 函館商工会議所報

# ともえ

## 10月号

(通巻355号)

### ■今月の表紙

#### 「旧弁天砲台」

写真は、弁天砲台を撮影した明治時代と推察される一葉です。

弁天砲台は、元治元年に江戸幕府によって外国船襲来に備えて築造されましたが、実際に使用されたのは箱館戦争において旧幕府脱走軍に占拠された際でした。その後、明治29年に港湾改良のため取り壊され、現在は函館どつく入り口前に碑が建つのみとなっています。

(函館市中央図書館所蔵)



### CONTENTS

- 2 特集  
職場におけるメンタルヘルス対策

---

- 4 会議所のうごき
  - 7合同部会幹事会
  - 各部会幹事会
  - 議員の選任
  - 第47回北海道・東北商工会議所連絡会議
  - 函館-台北間に定期便が就航
  - はこだてグルメサーカス
  - 第70回全道珠算競技大会
  - 女性会
    - ・道南ブロック研修会
    - ・9月例会
  - 青年部
  - 今後のうごき

---

- 8 中小企業相談所だより
  - 各種セミナー
  - マル経融資
  - 個別専門相談日程

---

- 10 福利厚生支援サービス

---

- 11 新幹線情報

---

- 12 企業探訪
  - 函館船具(資)

---

- 14 はこだてクリスマスファンタジー

---

- 15 ご案内
  - 第54回優良商工従業員表彰式
  - 国の教育ローン

---

- 16 連載コラム 快進撃企業に学べ
  - 弱き人々を雇用する「アイエスエフネット」

### 広告掲載企業

三井生命保険(株)函館支社  
 (株)中合棒二森屋店  
 日本興亜損害保険(株)  
 佐藤木材工業(株)  
 中小企業基盤整備機構  
 (業)英知国際特許事務所  
 龍文堂印刷(株)  
 モチベーション・アップ(株)  
 キャリアバンク(株)函館支店  
 タックスフェア  
 BCPセミナー  
 はこだてイカマイスター

表紙裏  
 裏表紙裏  
 裏表紙  
 段下  
 段下  
 段下  
 段下  
 折込  
 折込  
 折込  
 折込  
 折込

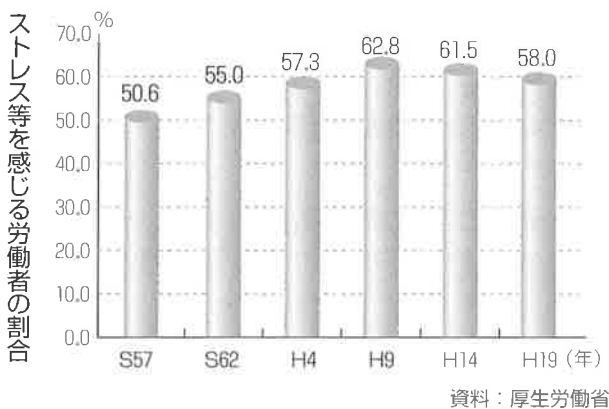
# 職場におけるメンタルヘルス対策

～従業員心のケアは万全ですか？～

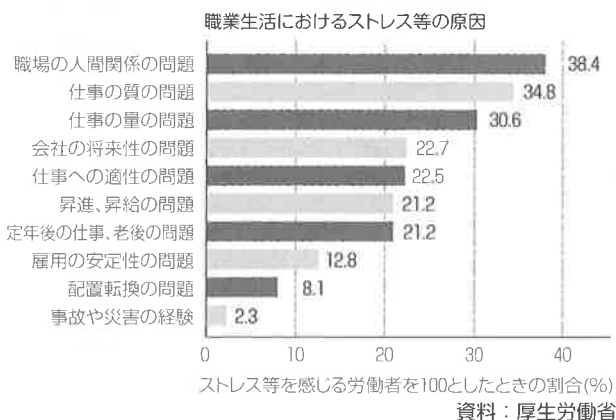
現代社会は、様々な技術が高度に発達するなかで、経済的に豊かになり、日々の暮らしがより便利になってきています。しかし、一方では多くの人々が生活のなかでなんらかのストレスを感じ、こころの病に悩まされるストレス社会とも言えます。

特に近年は、仕事や職業生活に対して強いストレスを感じている労働者が全体の6割を占めています。職業生活での適度なストレスは行動を活性化させ生産性を高めますが、過剰のストレスは生産性を低下させます。また、仕事のストレスが原因の一つと考えられる労働者の自殺も年間8千人～9千人前後の高い水準で推移しています。

## 職業生活でのストレス等の状況

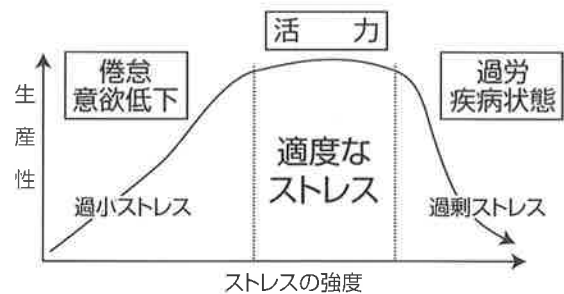


## 職業生活におけるストレス等の原因



## ストレスと生産性

■適度なストレス→人間の行動を活性化、快適・張りのある生活を可能にする



こうした労働者の職業生活でのストレスが高い水準で推移するなか、ストレスによりうつ病などの精神障害を発症する労働者が増加しています。さらに、これらが業務による心理的負荷が原因として労災認定が行われる事案が年々増加し、なかには高額な賠償金を支払うケースも増えてきています。また、労働に関する相談件数も高止まりとなっています。こうした状況は、雇用形態の多様化や権利意識の高揚、労働法制の変化などにより労働者が主張しやすい時代となった事が主な要因となっているといえます。

## 精神障害等による労災認定件数



仕事のストレスが原因で、従業員がうつ病を発症したり自殺をしたとして、労災認定を受ける事案が年々増加しています。

一般的には「うちの社員に限っては」と考えがちな、うつ病などの精神障害。企業には勤務中の怪我や事故だけでなく、従業員に対する心身の健康、メンタル面の管理責任があります。

本号では、いくつかの事例をもとにメンタルヘルスの現状と問われる会社の責任、予防対策などをご紹介します。

## 労働災害関係高額判決事例

判決金額	業種	判決年	事故内容
1億8,989万円	製造業	平成20年	異動先での長時間かつ連続勤務により重篤な障害となる
1億8,700万円	飲食店	平成22年	店長が長時間かつ連続勤務により重篤な障害となる
1億6,524万円	製材業	平成6年	吊った原木が落下して運転手に激突し重篤な障害となる
1億3,500万円	病院	平成14年	研修医が過労により急性心筋梗塞を発症し死亡
1億2,588万円	広告業	平成8年	過剰な長時間労働によりうつ病を発症し自殺
1億1,111万円	食品製造業	平成12年	過酷な環境と部下指導の悩みからうつ病を発症し自殺
1億700万円	病院	平成19年	麻酔科医師が過労により急性心機能不全を発症し死亡
1億398万円	協同組合	平成21年	労働環境が変化し業務量の増加からうつ病を発症し自殺
9,905万円	建設業	平成22年	現場監督が長時間労働によりうつ病を発症し自殺
9,164万円	建設業	平成10年	現場所長が工期の遅れからうつ病を発症し自殺

資料：労災問題研究所

今までは労災といえば業務中に関わる怪我や障害、死亡事故などが主でしたが、このように精神障害などによる労災認定件数が増加する現状を踏まえ、企業には従業員に対するメンタルヘルスの予防対策を立てたり、従業員が精神疾患になった場合の賠償金などの準備をしておくことが今後ますます重要となってきます。

## 企業がとるべき予防対策

### 4つのメンタルヘルスケアの推進

下記4つのケアを継続的かつ計画的に行うことが重要です。

#### 1 セルフケア(労働者自身によるケア)

- ストレスやメンタルヘルスに対する正しい理解
- ストレスへの気づき ● ストレスへの対処 ● 自発的な相談 など

#### 2 ラインによるケア(管理監督者によるケア)

- 職場環境等の問題点の把握と改善
- 「いつもと違う」部下の把握と対応
- 部下からの相談への対応
- メンタルヘルス不調者の職場復帰への支援
- セルフケア など

#### 3 事業場内産業保険スタッフによるケア

- 具体的なメンタルヘルスケアの実施に関する企画立案
- 個人の健康情報の取り扱い
- 事業場外資源とのネットワーク形成やその窓口
- 職場復帰における支援 など

#### 4 事業場外資源によるケア

- 情報提供や助言を受けるなど、サービスの利用
- ネットワークの形成
- 職場復帰における支援 など

### メンタルヘルスケアの具体的な進め方

メンタルヘルスケアの具体的な推進にあたっては、事業場内の関係者が相互に連携し、下記の取り組みを積極的に推進することが効果的です。

#### 1 メンタルヘルスケアを推進するための教育研修・情報提供

事業者は、前記の4つのケアが適切に実施されるよう、それぞれの職務に応じ、メンタルヘルスケアの推進に関する教育研修・情報提供を行う。

#### 2 職場環境等の把握と改善

事業者は、メンタルヘルス不調の未然防止を図る観点から職場環境等の改善に積極的に取り組み、管理監督者や事業場内産業保健スタッフ等に対し、職場環境等の把握と改善の活動を行いやすい環境を整備するなどの支援を行う。

#### 3 メンタルヘルス不調への気づきと対応

事業者は、個人情報の保護に十分留意しつつ、労働者、管理監督者、家族等からの相談に対して適切に対応できる体制を整備し、相談等により把握した情報を基に、労働者に対して必要な配慮を行う。

#### 4 職場復帰における支援

事業者は、メンタルヘルス不調により休業した労働者が円滑に職場復帰し、就業を継続できるようにするため、その労働者に対する支援を行う。

## メンタルヘルスケアが できている会社

- 安心して働ける職場
- 生産性の高い職場
- 活動的な職場
- やりがいのある職場
- 働く人が能力を発揮できる職場

※メンタルヘルス対策の詳細情報は厚生労働省HPをご覧ください。  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/>

## 7合同部会幹事会

### 函館市中心市街地活性化基本計画について説明を受ける

7合同部会幹事会（商業部会主管）を去る10月3日、59名が出席のもとロワジュールホテル函館において開催しました。

当日は、去る8月31日開催の函館市中心市街地活性化協議会（会長：永井副会頭）総会にて公表された函館市中心市街地活性化基本計画の原案について、函館市経済部より担当者を招き説明が行われました。

出席者からは、「駅前通り、グリーンベルトなどの回遊性の向上と駐車場利用者の利便性を図り来街の促進を図るべき」「富山市など先進地での公共交通の有効活用策を参考とし当計画に活かすべき」「このままでは当市の衰退は止められなく、まちづくりは企業誘致など雇用も含め広範囲で考えるべき」など活発な意見が出されました。

また、函館市より当計画について、この後、各方面からの意見を参考に原案の修正作業を行い、本年11月頃を目途に成案化し、来年1月に内閣府へ計画認定の申請を行い、同年3月に認定を受ける予定であるとの説明がありました。



▲開催に先立ち挨拶を行う渡辺部会長

## ■各部会幹事会

### 2号議員3名を補充選任

各部会幹事会（農水産、建設・土木、商業）を順次開催し、2号議員の選任を行いました。

各部会では、2号議員1名の補充選任について協議が行われ、その結果、次頁の3名が決定しました。なお、各部会幹事会のそれぞれの開催日と補充選任以外の議題は下記のとおりです。

#### ○農水産部会

（9月6日開催 石尾担当副会頭、高野部会長）

議題：自家発電設備導入促進事業費補助金について

#### ○建設・土木部会

（9月10日開催 佐藤担当副会頭、芝原部会長）

議題：函館市中心市街地活性化基本計画原案について

#### ○商業部会

（9月10日開催 永井担当副会頭、渡辺部会長）

議題：函館市中心市街地活性化基本計画原案について



▲2号議員選任について協議を行う商業部会の参加者

## 議員の選任

### ◎2号議員

平成24年9月6日付

(株)古清商店 古伏 隆 二 氏

平成24年9月10日付

(株)松本組 芝原 廣一 氏  
成沢機器(株) 成澤 茂 氏

### ◎1号議員

平成24年9月20日付

(社福)函館大庚会 今 千尋 氏

黒島総合事務所 黒島 一生 氏

及明ビル管理(株) 小林 眞樹 氏

(株)北陸銀行函館支店 稲松 孝則 氏

(株)NTT 東日本-北海道函館支店

林 浩雄 氏

(株)アドバンス 小坂 三男 氏

三印 三浦水産(株) 三浦 隆司 氏

## 第47回北海道・東北 商工会議所連絡会議

### 復興推進と活性化対策についての要望を決議

第47回北海道・東北商工会議所連絡会議が去る9月5日、登別市において開催され、本所からは松本会頭をはじめ佐藤、永井、久保副会頭が出席しました。

同連絡会議は、北海道と東北の商工会議所が相互に交流し、両地域の発展に寄与することを目的に毎年持ち回りで開催されているものです。

当日は、「日本経済社会の復興・再生と商工会議



▲開催に先立ち挨拶を行う道商連高向会頭

所の役割」と題した日本商工会議所岡村会頭の基調講演に続き、会津若松、伊達、弘前、旭川商工会議所の各会頭より、大震災後の復興状況について、東北新幹線開業効果と北海道新幹線開業に向けた取組について、北海道・東北経済連携の推進について等の意見発表が行われました。また、東日本大震災後の産業復興推進と両地域の活性化対策について、国に強く要望する決議を行いました。

## ■函館-台北間に定期便が就航

### 定期便化を記念し出発式を行い、復興航空などを表敬訪問

台湾の復興航空運航による、函館-台北間の定期航空路線が去る9月9日開設されました。

当日は、函館空港国際線ターミナルにおいて折返し便の出発式を行い、松本会頭をはじめ関係者によるテープカットが行われたほか、同日夜には市内のホテルで祝賀会が催され定期便化を祝いました。

また、久保副会頭を団長に、函館-台北線就航記念表敬訪問団一行7名が、路線を開設した復興航空へのお礼と安定運航・送客のお願いを行うため台湾を訪れ、旅行会社、交流協会台北事務所などとも情報交換を行いました。

復興航空では、日・月曜日の週2回1往復の運航を行います。このほか、10月28日からはエバー航空による定期便の就航も予定されており、台湾からの観光客増加への期待が高まっています。



▲定期便就航を記念してのテープカット

## ■はこだてグルメサーカス

### 16万人が会場を訪れ、大盛況のうちに終了

函館市制施行90周年と北海道新聞社創刊70周年の記念事業「はこだてグルメサーカス」が、大門グリーンプラザと函館朝市第一駐車場を会場に、去る9月22日、23日の2日間開催されました。

函館・道南地域、東北地域のほか、航空路線で繋がる東京・大阪・名古屋、開港都市、国際姉妹都市から100を超えるブースが出店する函館最大の食のイベントに2日間で16万人もの市民・観光客が訪れました。22日のオープニングセレモニーでは、函館市消防音楽隊の演奏に続き、石尾副会頭による開会宣言でイベントがスタートし、各ブースでは美食を求めて長い行列ができて売切れ店が続出、ステージイベントやプレゼント抽選会などで終日賑わいをみせました。



▲イベント開催に先立ち開会宣言する石尾副会頭

## ■第70回全道珠算競技大会

### 306名の選手がそろばんの腕を競う

第70回全道珠算競技大会が去る9月23日、函館地区大会を勝ち抜いた24名の選手をはじめ、全道各地から総勢306名の選手が参加のもと、釧路市観光国際交流センターにおいて開催されました。

当日は、それぞれ部門別に分かれた選手が個人・団体競技、種目別競技においてそろばんの腕を競い、競技の結果、個人競技の最高賞である「そろばん北海道一」は札幌の中村卓磨さんに決定しました。また、函館からは個人競技と種目別競技の一般の部において八木泰樹さん（株エスイーシー）が2位、種目別競技の中学校の部では齋藤淳之介

君（道教大附属函館中学校）が3位となるなど、多くの選手が入賞を果たしました。また、13市で競った都市対抗競技は札幌市が1位、函館市は惜しくも4位となりました。なお、大会の最後には来年の全道大会開催地が発表され、平成25年9月15日に函館市において開催することが決定しました。



▲そろばんをはじく函館の参加選手

## ■女性会

### □道南ブロック研修会

平成24年度商工会議所女性会道南ブロック研修会が去る9月13日、当女性会から内山会長をはじめ9名、森、登別、浦河、苫小牧の各地女性会からは39名が参加のもと、苫小牧市において開催されました。

当日は、勇払原野に広がるホテルニドムで、コテージや教会を見学後、苫小牧商工会議所女性会佐藤会長より開催地挨拶をいただき、各地女性会代表による活動報告を行いました。その後は「第52次日本南極地域観測隊に参加して」と題し、苫小牧工業高等専門学校岩波准教授より南極での生活や地球の動きに関する講話をいただき、研修の最後には、日本最大級の工業地域「苫東」を見学し、大規模な工場や大自然の雄大さに圧倒され、見聞や交流を深める有意義な研修会となりました。



▲研修会に参加した女性会メンバー



## □9月例会

9月例会を去る9月19日、内山会長をはじめ14名が参加のもと函館市文学館において開催しました。

当日は、「啄木の終焉と妻節子」と題した啄木没後百年特別企画展をガイドの説明を受けながら見学し、26歳の若さでこの世を去った啄木の晩年期の作品など大変貴重な資料を鑑賞しました。また、ガイドからは夫婦の病魔や貧困との闘いなどについて説明を受け、石川啄木ゆかりの地である函館の市民として、より理解を深めた例会となりました。

さらに見学会終了後は、レストランウィニングにおいて昼食懇談会を行い、函館港を一望できる素晴らしい景色のなか、交流を図り盛会裡に終了しました。



▲石川啄木の像を囲んで

## ■青年部

### フルマソン大会の実現にむけてPR

青年部では、去る9月30日に開催された函館ハーフマソン大会において、2014年のフルマソン大会実現を目指すPR活動を行いました。

当日は、小雨の降る中揃いのデザインウェアを着たランナー15名全員がハーフマソンコースを完走し、共に走るランナーに向けたPRを行い、沿道応援者20名は折り返し地点など3ヶ所で横断幕を持ち、メンバーの応援を兼ねて広く市民やランナーにアピールを行いました。

また、大会終了後には完走したランナーと沿道応援者で懇親会が開催され、フルマソン大会開催の実現に向けて一致団結しました。



▲フルマソンをPRした青年部のランナーと応援者

## ■今後のうごき

10月	
15	(月) ・ITコーディネーター個別相談 ・青年部10月例会
16	(火) 議員会 議員懇話会
17	(水) タブレット端末活用入門セミナー
23	(火) 青年部OB会懇親会
24	(水) 発明相談
26	(金) 法律相談
28	(日) 第196回珠算能力検定試験
31	(水) 検索連動型広告活用セミナー
11月	
6	(火) 明日から経理ができる経理入門セミナー
11	(日) 第7回はこだて検定
13	(火) 保証協会個別相談
14	(水) 経営相談
15	(木) ・究極のプレスリリース活用術 ・第8回はこゼミ
18	(日) 第132回簿記検定試験
19	(月) 鹿児島商工会議所130周年記念式典、講演会、交流会
20	(火) 鹿児島山形屋 北海道の物産と観光展函館デー オープニングセレモニー
21	(水) 金融個別相談
22	(木) ・法律相談 ・青年部青函合同例会
23	(金・祝) 第7回北海道観光マスター検定試験 (予定)
25	(日) 第29回福祉住環境コーディネーター検定試験
27	(火) 第54回優良商工従業員表彰式
28	(水) ・発明相談 ・第9回はこゼミ
【9月28日現在】	